

**施策体系シート(行政経営Bシート)**

作成者	組織	スポーツ振興課	職	課長	氏名	山下 幸則
評価者	組織	スポーツ振興課	職	課長	氏名	村角 美登

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	生涯にわたるスポーツ活動の振興	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数(累計)	人	500,000 (R7)	431,607 (R3)	445,255 (R4)	B
施策2	競技スポーツの振興	国民体育大会男女総合成績(天皇杯順位)	位	20位台以内 (R4)	中止 (R3)	28 (R4)	A
施策3	スポーツを通じた地域活性化	県内トップスポーツチームホームゲーム観客数(年間)	人	155,000 (R7)	78,000 (R3)	77,771 (R4)	D

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価	
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1 若年期から高齢者までのライフステージに応じたスポーツ活動の推進	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数(累計)	人	500,000 (R7)	431,607 (R3)	445,255 (R4)	1 いしかわ県民スポーツの日記念イベント開催事業	県民	4,000	2,954	B	継続
							2 いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会開催事業	県民	8,000	6,935	B	継続
		アプリの累計ダウンロード数	件	25,000 (R4)	21,109 (R3)	24,777 (R4)	3 いしかわスポーツマイレージ事業	県民	7,500	6,811	B	継続
施策2	課題1 ジュニア選手の育成と強化	全国中学校体育大会・国民体育大会(少年種別)・全国高等学校総合体育大会における入賞数	入賞数	100 (R4)	83 (R3)	76 (R4)	4 高校生強化事業	指定運動部	20,000	19,299	B	継続
							5 中学生強化事業	中学選抜選手	7,500	6,700	B	継続
		運動能力測定会参加人数	人	330 (R4)	295 (R3)	324 (R4)	6 いしかわジュニアアスリート発掘事業	小学生	2,400	2,400	B	継続
	課題2 より高いレベルの選手の育成と強化	国民体育大会男女総合成績(天皇杯順位)	順位	20位台以内 (R4)	中止 (R3)	28 (R4)	7 選手強化事業	強化指定選手	192,900	186,458	B	継続
							8 科学的トレーニング特別強化事業	強化指定選手	2,000	2,000	A	見直し
			国際大会出場者数	人	10 (R4)	11 (R3)	6 (R4)	9 いしかわの次世代アスリート支援事業	若手アスリート	10,000	9,801	B
課題3	スポーツ指導者の養成と資質向上	県内企業へのアスリート就職者数	人	10 (R4)	4 (R3)	2 (R4)	10 いしかわアスリートキャリアサポート事業	県内就職希望者	480	130	C	廃止
課題4	障害者アスリートの競技力向上	パラアスリート支援に係る補助申請件数	件	20 (R4)	2 (R3)	14 (R4)	11 パラアスリート支援事業	障害者アスリート	2,000	320	B	継続
		全国大会入賞者数	入賞数	10 (R4)	10 (R3)	12 (R4)	12 パラアスリート育成事業	障害者アスリート	2,000	2,000	A	継続
施策3	課題1 県内トップスポーツチーム等との連携	スポーツチームとの交流イベント参加者数	人	1,000 (R4)	中止 (R3)	600 (R4)	13 いしかわトップスポーツチーム地域貢献協働推進事業	県民	6,000	5,284	B	継続
							14 パラスポーツ普及促進事業	県民	2,000	989	B	継続

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	いしかわ県民スポーツの日記念イベント開催事業費	事業開始年度	R2	事業終了予定年度		
		根拠法令・計画等	石川県スポーツ推進計画2021			
		作組	織: スポーツ振興課			
		成職・氏名	専門員 芝田 和則			
		者電話番号	076 - 225 - 1393 内線 4379			

**事業の背景・目的**  
 令和3年度の夏、冬に相次いで開催されたオリンピック・パラリンピックにおいて、本県ゆかりの選手が大いに活躍され、県民のスポーツに対する関心が一層高まっている。  
 本県では、平成3年の石川国体を契機に、平成4年から「いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会」を開催しており、毎年4月から翌年2月まで、延べ2万人を超える幅広い年齢層の県民が参加するスポーツの祭典として定着。  
 その総合開会式を開催する4月の第4日曜日を「いしかわ県民スポーツの日」に制定し、一年を通じてスポーツに親しむキックオフの日とする。そのスタートの日に記念イベントを開催し、全県的な盛り上がりを図る。

**事業概要**

1 「いしかわ県民スポーツの日」記念イベント  
 期 日 : 令和4年4月24日(日)(4月第4日曜日)  
 会 場 : いしかわ総合スポーツセンター  
 内 容 : 県ゆかりのアスリートによるトークショー  
         松本 薫さん、中川 真依さん、深田 彩加さん、藪本 光咲さん  
         スポーツ体験教室  
         松本 薫さんの柔道教室、  
         トランポリン、車いすバスケ、ボルダリング  
         ボッチャ、ブラインドサッカー、ウエイトリフティング  
         運動能力測定、親子運動遊び、スケートボード  
 参加者数: 約1,200人

2 スポーツ施設の県民の個人利用の無料化  
 対象施設: 県及び市町スポーツ施設(198施設)

施策・課題の状況						
施策	生涯にわたるスポーツ活動の振興	評価	B			
課題	若年期から高齢者までのライフステージに応じたスポーツ活動の推進					
	指標	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数(累計)	単位: 人			
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	500,000	396,776	419,820	424,295	431,607	445,255

事業費						
(単位: 千円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算			5,000	4,000	4,000
	決算			1,730	1,750	2,954
一般財源	予算			5,000	4,000	4,000
	決算			1,730	1,750	2,954
事業費累計				0	1,730	3,480

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)	B	令和3年度はコロナ禍の影響で「いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会」総合開会式は中止となったが、令和4年度は感染防止対策を徹底した上で、開会式と体験教室を開催し、イベント全体の盛り上がりを図ることができた。同交流大会全体の参加者数も前年度より増加し、県民の生涯スポーツ活動の促進に寄与することができたと考えられる。 <記念イベント参加人数> R3: 700人(体験教室のみ) R4: 1,000人(開会式、体験教室)
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	「いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会」の始まりを記念したイベントを開催することで、一年を通じてスポーツに親しむ機運の醸成を図るため、継続して開催する。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会開催 事業費	事業開始年度	H30	事業終了予定年度		作 組 織	スポーツ振興課
		根拠法令 ・計画等	石川県スポーツ推進計画2021			成 職・氏名	専門員 芝田 和則

**事業の背景・目的**  
 本県では過去2回(2011年、2015年)、競技志向の高いシニア世代の祭典として日本スポーツマスターズ大会を開催し、生涯スポーツの振興に寄与した。日本スポーツマスターズ大会によって醸成された生涯スポーツの気運の高まりを継承し、本県の生涯スポーツの振興を図るとともに、広く県民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、その活動を通じて交流を深めるとともに、明るく生き生きとした県民生活の一層の充実をめざす。

**事業の概要**

1 主 催 石川県  
 2 期 日 令和4年5月～6月(中心開催期間)  
 3 参加者数 約20,000名  
 4 内 容

(1) 総合開会式および著名な講師によるスポーツ交流教室等  
 (「いしかわ県民スポーツの日」記念イベントと併催)  
 期 日： 令和4年4月24日(日)  
 会 場： いしかわ総合スポーツセンター  
 参加団体： 種目団体、市町参加者  
 内 容： 開会宣言  
 大会長(知事)あいさつ  
 選手宣誓  
 (総合開会式終了後、記念イベント)  
 本県ゆかりのアスリートによるトークショー

(2) 種目別大会(場所・期日は未定) グラウンドゴルフ他45種目  
 大会活性化のための取り組み(トップ選手との交流、初心者向けの体験会等(約5種目団体))

(3) ニュースポーツ体験広場・協賛大会  
 開 催 地： 開催希望市町および総合型地域スポーツクラブの設立されている地域  
 主管団体： 市町スポーツ担当および総合型地域スポーツクラブ(11クラブ)  
 実施種目： ニュースポーツ体験、親子スポーツフェスティバルなど

施策・課題の状況						
施策	生涯にわたるスポーツ活動の振興	評価	B			
課題	若年期から高齢者までのライフステージに応じたスポーツ活動の推進					
	指標	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数(累計)		単位	人	
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成30年度	令和元年	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	500,000	396,776	419,820	424,295	431,607	445,255

事業費						
(単位:千円)		平成30年度	令和元年	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	10,000	10,000	8,000	8,000	8,000
	決算	9,511	9,244	2,148	5,139	6,935
一般	予算	7,591	7,591	5,795	5,795	5,795
	決算	7,573	7,529	1,618	4,245	5,584
事業費累計		246,017	255,261	257,409	262,548	269,483

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)	B	R4年度は、感染対策を徹底した上で交流教室等を実施したことで、大会参加者数はコロナ前の約6割まで回復した。誰もが気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション交流大会は、県民が生涯スポーツに親しむ上で有効であると考えられる。  <交流大会参加人数> R4:13,648人(前年度比 6,336人増) R1:23,044人(コロナ前)
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	県民がいつでも気軽に参加出来る大会運営に努め、継続して開催する。 また、総合開会式と併催する「いしかわ県民スポーツの日記念イベント」では、スポーツ体験等を実施し、県民のスポーツ意識の高揚を図る。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわスポーツマイレージ事業費	事業開始年度 根拠法令 ・計画等	H30 石川県スポーツ推進計画2021	事業終了予定年度	作 組 織 成 職・氏名 者 電話番号	スポーツ振興課 専門員 芝田 和則 076 - 225 - 1393 内線 4379

**事業の背景・目的**  
 県民のスポーツに親しむきっかけづくりや継続して運動に取り組む習慣づくりを促進するため、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の3つの活動をポイント化し、多様なスポーツ活動をサポート支援する。

**事業の概要**  
 1 内容  
 (1)スマートフォンアプリの運用  
 ウォーキング等のスポーツを「する」ことのみならず、観戦等のスポーツを「みる」ことやボランティア等のスポーツを「ささえる」こともポイント化するスマートフォンアプリ「いしかわスポーツマイレージ」(平成30年度に開発し、平成31年3月から配信開始。)を運用し、貯まったポイントを利用して特典を得られる抽選を実施する。

**主な機能・利用方法**

- ・スマートフォンの歩数計機能を活用し、計測した歩数をポイント化する
- ・スポーツの大会、イベント会場に設置されたQRコードを読み取ることでポイント付与
- ・貯めたポイントを使って、抽選を実施
- ・アプリのGPS機能を使った試合観戦によるキャンペーンの実施(通年)

**協賛企業について**  
 飲料メーカー、食品メーカー、スーパーマーケット、ドラッグストアなどが協賛企業(15企業・団体)となり、景品の提供や広報について協力いただいている。

施策・課題の状況						
施策	生涯にわたるスポーツ活動の振興	評価	B			
課題	若年期から高齢者までのライフステージに応じたスポーツ活動の推進	指標	アプリの累計ダウンロード数	単位	件	
	目標値	現状値				
	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	25,000	5,362	13,197	17,159	21,109	24,777
事業費						
	(単位:千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	8,000	3,000	5,500	8,000	7,500
	決算	8,305	2,800	4,906	6,610	6,811
一般	予算	8,000	3,000	5,500	8,000	7,500
財源	決算	8,305	2,800	4,906	6,610	6,811
事業費累計		8,305	11,105	16,011	22,621	29,432
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)	B	令和4年度より、県内トップスポーツチームが実演する効率的なトレーニング動画の配信をアプリ内で開始したほか、「いしかわまるごとウォークチャレンジ」や「バーチャルウォーキング」の新規コースを追加した。 アプリのダウンロード数は2万4千件を超え、利用者からは「運動継続のモチベーションになる」などの反響があり、運動の継続に効果があると考えられる。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き利用者が楽しめるようにアプリを運用し、運動開始のきっかけづくりや継続を促す取組みを行う。				



# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> 高校生強化事業費	<b>事業開始年度</b> H4	<b>事業終了予定年度</b>	<b>作成者</b> 組織: スポーツ振興課 職・氏名: 専門員 中山 泰久 電話番号: 076 - 225 - 1392 内線 4382
	<b>根拠法令・計画等</b>	石川県スポーツ推進計画2021	

**事業の背景・目的**  
 全国高体連が主催又は共催する全国大会等で優秀な成績を収めるため、選手育成の拠点となる県内高等学校運動部等を指定し、強化を推進するとともに、重点強化選手の指定により、集中的な強化を図る。

**事業の概要**

- 1 指定期間  
令和4年4月1日～令和5年3月31日
- 2 指定方法  
県高体連会長が指定基準を満たす運動部を推薦し、県民文化スポーツ部で審査の上、県民文化スポーツ部長が指定
- 3 指定基準及び指定数

**【強化指定事業】**

<団体>

A指定 (12校13競技16運動部)  
令和2年度、令和3年度のいずれかで、全国大会で団体8位以内の入賞実績があること

B指定 (14校14競技16運動部)  
令和2年度、令和3年度のいずれかで、全国大会で団体ベスト16位以内の実績があること

C指定  
令和4年度の北信越高校体育大会で優勝の実績があること

<個人>

A指定 (5校5競技5運動部)  
令和2年度、令和3年度のいずれかで、全国大会で4位以内の入賞実績があり、令和4年度に当該校に在籍していること

B指定 (7校6競技8運動部)  
令和2年度、令和3年度のいずれかで、全国大会で8位以内の入賞実績があり、令和4年度に当該校に在籍していること

<駅伝強化>  
令和4年度 全国高校駅伝大会出場資格を有すること

**【重点強化事業】 (8校9競技9運動部)**  
 全国大会で上位入賞が期待できる競技の中から、県民文化スポーツ部と県高体連が協議の上、重点強化選手を指定

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	競技スポーツの振興				<b>評価</b>	A
<b>課題</b>	ジュニア選手の育成と強化					
<b>指標</b>	全国中学校体育大会・国民体育大会(少年種別)・全国高等学校総合体育大会における入賞数				<b>単位</b>	入賞数
<b>目標値</b>	<b>現状値</b>					
	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	100	97	94	中止	82	76
事業費						
	(単位:千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<b>事業費</b>	予算	20,000	20,800	22,200	20,900	20,000
	決算	20,000	20,800	19,870	18,636	19,299
<b>一般財源</b>	予算	20,000	20,800	22,200	20,900	20,000
	決算	20,000	20,800	19,870	18,636	19,299
<b>事業費累計</b>		650,000	670,800	690,670	709,306	728,605
評価						
	<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>			
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	令和4年度の高校3年生は、高校入学時からコロナ禍であり、過去二年を通して対外試合の自粛や活動を自粛する等の制限があり、十分な選手強化ができなかった。特に、部員数が少ない学校は自チーム内での実践練習が十分にできないことが入賞数の減少につながったと考えられる。 ・全国高校総体における入賞数の推移 団体 R3:10 → R4:8 個人 R3:40 → R4:24 ・全国高校選抜大会における入賞数の推移 団体 R3:10 → R4:6 個人 R3:25 → R4:30			
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	全国大会で実績を挙げている運動部を重点的に強化することは、部活動の活性化はもとより、国体少年種別の強化につながる。指定した運動部が、選手育成の拠点へと発展し、継続して優秀な選手の育成を図ることができる。 【R5強化指定校】 24校27競技49運動部 【R5重点強化指定】 9競技12運動部33名			

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 中学生強化事業費	事業開始年度 H5	事業終了予定年度	作 組 織 スポーツ振興課
	根拠法令・計画等 石川県スポーツ推進計画2021		成 職・氏名 専門員 高田 哲洋
			電 話 番 号 076 - 225 - 1392 内線 4382

**事業の背景・目的**

全国中学生体育大会等において優秀な成績を収めるとともに、将来、国民体育大会少年の部選手、成年の部選手として活躍できるように、計画的に育成・強化し、競技力の向上を図る。

**事業の概要**

1 強化事業

(1) 実施競技  
県中学校体育連盟に加盟の18競技  
陸上、水泳、バスケットボール、サッカー、ハンドボール、軟式野球、体操、新体操、バレーボール、ソフトテニス、卓球、バドミントン、ソフトボール、柔道、剣道、相撲、スキー、弓道

(2) 対象  
県中学校体育連盟各専門部で選考した体力・技術面に優秀で、県中学校体育連盟会長の承認を得た者

(3) 内容  
県中学校体育連盟各専門部が、強化合宿、強化練習等を計画・実施

(4) 経費  
県中学校体育連盟各専門部が実施する強化合宿、強化練習等に要する経費の一部を予算の範囲内で助成

2 重点強化事業

(1) 実施競技  
重点強化競技に指定した5競技(相撲、水泳、スキー、陸上競技、バスケットボール)

(2) 対象  
将来、国民体育大会等で中心選手として活躍が期待できる選手で、競技団体及び中学校体育連盟各専門部が選抜した者

(3) 内容  
科学トレーニングの活用、および競技団体のハイレベルな指導力を有する指導者と県中学校体育連盟各専門部が連携し、強化合宿、強化練習等を計画・実施

(4) 経費  
科学トレーニングや競技団体と県中学校体育連盟各専門部が実施する強化合宿、強化練習等に要する経費の一部を予算の範囲内で助成

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの振興				評価	A
課題	ジュニア選手の育成と強化					
	指標	全国中学校体育大会・国民体育大会(少年種別)・全国高等学校総合体育大会における入賞数			単位	入賞数
	目標値	現状値				
	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	100	97	94	中止	82	76

事業費						
(単位:千円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
	決算	7,500	7,500	5,065	5,492	6,700
一般財源	予算	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
	決算	7,500	7,500	5,065	5,492	6,700
事業費累計		165,634	173,134	178,199	183,691	190,391

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性(費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	<p>コロナの影響で練習や県外合宿など活動が制限され十分な強化が行えない中、強化選手をしぼり、効率的な練習時間の確保等、各専門部が計画的に強化事業を行ったことで、全国中学校体育大会においては優勝の活躍が見られなかったものの、入賞数は過去10年の平均を上回る数値となり、競技力向上には一定の効果があった。</p> <p>【全国中学校体育大会における入賞数】 過去10年平均値:22 R4入賞数:25</p> <p>【重点強化指定競技の上位入賞】 &lt;団体&gt;相撲:2位、バスケットボール:2位 &lt;個人&gt;陸上競技:2位、水泳(飛込):2位、水泳(競泳):3位 相撲:3位</p>
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	<p>中学生の強化は、本県における各競技団体の競技力の底上げとなる。また、国体において中学3年生が参加できる競技が半分程度あり、チーム石川の競技力向上のためにも本事業の継続が必要である。</p> <p>引き続き県中体連と連携し、将来の少年種別の選手育成も見据え中学生の育成・強化を図る。</p> <p>特に、R5年度は、全国大会で活躍が期待される相撲、卓球、バドミントン、スキー、陸上競技の5競技を重点的に強化する。</p> <p>また、令和6年度全国中学校体育大会において、本県で開催される3競技(水泳、サッカー、ソフトテニス)の重点的な強化を図る。</p>

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわジュニアアスリート発掘事業費	事業開始年度	H30	事業終了予定年度		作 組 織	スポーツ振興課
	根拠法令 ・計画等	石川県スポーツ推進計画2021			成 職・氏名	専門員 中山 泰久
					者 電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4382

**事業の背景・目的**  
最新機器を活用した運動能力測定会や、各競技団体によるスポーツ見本市(簡易スポーツ体験会)を開催し、子どもたちが自分の可能性に気づき、未来のアスリートとして成長するきっかけを作ること、本県スポーツの裾野の拡大と競技力の向上につなげる。

**事業の概要**

- 1 対象 県内小学生1年生から6年生
- 2 内容
  - (1)運動能力測定会
    - ・最新機器を活用して6種目の運動能力を測定し、64種目の中から自分の適性に合った10種目のスポーツを提示
    - ・専門スタッフによる、個々に応じたトレーニングのアドバイス
  - (2)スポーツ見本市
    - ・県内競技団体が実施する簡易スポーツ体験コーナー。興味・関心のあるスポーツや測定データから自分に合ったスポーツを自由に体験する。

会場 いしかわ総合スポーツセンター、七尾総合市民体育館

実施競技(予定)  
金沢会場: バレーボール、ホッケー、ウエイトリフティング、フェンシング、ボクシング  
七尾会場: レスリング、ホッケー

- (3)スポーツ体験教室
  - ・県内競技団体が実施する体験教室。

会場 各競技団体の拠点場所

実施競技(予定)  
レスリング、柔道、ウエイトリフティング、ハンドボール、アイスホッケー  
ボクシング、水泳(飛込)、ライフル射撃

施策・課題の状況							
施策	競技スポーツの振興				評価	A	
課題	ジュニア選手の育成と強化						
	指標	運動能力測定会参加人数				単位	人
	目標値	現状値					
	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	330	320	605	294	295	324	
事業費							
	(単位:千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算	3,000	2,400	2,400	2,400	2,400	
	決算	2,345	2,085	3,608	2,953	2,400	
一般財源	予算	3,000	2,400	2,400	2,400	2,400	
	決算	2,345	2,085	3,608	2,953	2,400	
事業費累計		2,345	4,430	8,038	10,991		
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年同様、感染対策を徹底して実施し、運動能力測定会には、324名(R3:295名)の児童が参加した。また、スポーツ見本市を実施し、1,125名(R3:640名)の児童が参加した。このような運動能力測定会やスポーツ見本市を通して、児童が自分の適性を知ることができ、様々なスポーツに興味を抱くことにつながっている。 ・運動能力測定会 参加人数 R4:金沢 214名(R3:191名) / R4:七尾 110名(R3:104名) ・スポーツ見本市 金沢会場(10競技) バレーボール、ホッケー、ウエイトリフティング、レスリング、フェンシング、柔道、ライフル射撃、なぎなた、ソフトテニス、ハンドボール 七尾会場(3競技) レスリング、ウエイトトレーニング、バレーボール ・スポーツ体験教室実施状況 R4:8競技(R3:6競技) 柔道、ライフル射撃、水泳(飛込)、ウエイトリフティング、レスリング、アイスホッケー、ボクシング、ハンドボール					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	運動能力測定会、スポーツ見本市の参加児童への事後アンケートでは、9割を超える児童が「楽しかった」と回答しており、子どもたちからは、「自分に向いているスポーツが見つかって良かった。」「思ってもいなかったスポーツに目を向けることが出来た。」、また、保護者からは、「今まで、習い事をしてなく、スポーツを始める良い機会になった。」等、高評価を得ている。今後も競技団体と連携して、様々なスポーツを体験できる機会を一体的に開催することにより、本県スポーツの裾野の拡大と競技力向上を図る。					

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	選手強化事業費	事業開始年度	S38	事業終了予定年度		作組織	スポーツ振興課	
		根拠法令 ・計画等	石川県スポーツ推進計画2021				成職・氏名	課長補佐 元尾 武彦
						者電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4381	

**事業の背景・目的**  
 国民体育大会および各種全国大会に優秀な成績を収めるため、成年・少年(中・高)強化選手を対象に強化を行う。2年連続国体が中止となったため、例年以上に国体に対する意識醸成を図り、目標の1000点獲得、20位台以内確保を目指す。また、国体開催以外の各競技の組織及び選手強化を図る。

**事業の概要**

1 選手強化事業  
 国民体育大会で実施される41競技の競技力維持・向上を図るため、強化事業(合宿・遠征等)を実施。また、国体入賞に向け努力し成果が期待される競技種別に対し、重点的な強化を行う。

(1) 基礎強化 対象者 成年:41競技798人(ヘッドコーチ・監督・コーチ・強化選手)  
 少年:38競技699人(監督・コーチ・強化選手)

(2) 重点強化 内容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習、講師招聘等  
 対象者 過去2回(73,74回)の国体で実績ある競技団体  
 北信越大会で実績のある競技団体

(3) 特別強化 内容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等  
 対象者 北信越大会でふるさと選手を活用して優勝した競技団体(成年)  
 北信越大会を突破した競技団体(1位突破した競技団体に重点配分)  
 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等

2 ジュニア選手育成事業  
 将来、国民体育大会および全国大会等において優秀な成績を収めるために、全国大会で実績を挙げている競技団体を指定し、有望な小・中学生を育成・強化する。  
 対象： 中央競技団体主催の小・中学生全国大会で、好成績を収めた競技団体を指定(指定13競技団体)  
 スキー、水泳、ボート、カヌー、陸上、テニス、体操、レスリング、ウエイトリフティング  
 卓球、相撲、バドミントン、空手道

3 体育団体組織強化事業  
 国体で実施される正式競技以外の競技団体に補助金を助成し、組織及び選手強化を図る。  
 対象: 15団体  
 綱引連盟、少林寺拳法連盟、オリエンテーリング協会、ゲートボール協会、  
 パワーリフティング協会、グラウンドゴルフ協会、武術太極拳連盟、バイアスロン連盟、  
 マレットゴルフ協会、パークゴルフ協会、障害者スポーツ協会、パウンドテニス協会、  
 ボールルームダンス連盟、ダンススポーツ連盟、バトン協会

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの振興				評価	A
課題	より高いレベルの選手の育成と強化					
	指標	国民体育大会男女総合成績(天皇杯順位)			単位	順位
	目標値	現状値				
	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	20位台以内	23	35	中止	中止	28
事業費						
	(単位:千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	192,900	192,900	192,900	192,900	192,900
	決算	192,900	191,713	141,825	149,965	186,458
一般	予算	192,900	192,900	192,900	192,900	192,900
財源	決算	192,900	191,713	141,825	149,965	186,458
事業費累計		6,942,087	7,133,800	7,275,625	7,425,590	7,612,048
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	国民体育大会男女総合成績は、28位(R1は35位R2・3は中止)と目標の20位台を達成することができた。大きな要因として成年女子団体競技の活躍が挙げられ、獲得得点は、前回の茨城国体より63点増加の195.5点であり、過去10大会では最多の得点を獲得した。一方男子においては前回大会より16点の増加であったが、入賞を期待していた団体競技(弓道男子、相撲少年、ハンド少女など)が振るわなかった。 なお、過去10大会では7度20位台以内を確保しており、県スポーツ協会や競技団体と連携して、本県スポーツの競技力の向上に向けた選手強化が図られている。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	近年の国体入賞実績や有識者の意見を踏まえ、国体で入賞の可能性が高い北信越国体1位突破の競技団体へ強化費を手厚く助成するなどメリハリをつけた強化を図る。 また、国体の直前強化の充実を図り、R5鹿児島国体においても20位台を目指す。				



# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 科学的トレーニング特別強化事業費	事業開始年度	H20	事業終了予定年度	R4	作 組 織 : スポーツ振興課 成 職・氏名 : 専門員 高田 哲洋 者 電話番号 : 076 - 225 - 1392 内線 4382
	根拠法令・計画等	石川県スポーツ推進計画2021			

**事業の背景・目的**  
国民体育大会をはじめとする全国大会や国際大会等において、優秀な成績を収めるため、科学的トレーニング機能の有効活用により競技力の向上を図る。

- 事業の概要**
- 1 対象 競技団体が推薦する成年・少年強化選手80名
  - 2 内容
    - (1) 基礎体力測定・専門測定を年2回実施し、トレーニング処方を作成。  
トレーニング処方に基づいた、実践指導やコントロールテストを適宜実施。
      - ①基礎体力測定
      - ②専門測定・分析
      - ③トレーニング処方作成・提示
      - ④トレーニング実践指導
      - ⑤コントロールテスト
    - (2) アスレティックトレーナー活用によるコンディショニング指導(年3～4回)
      - ①強化練習、合宿時に怪我をしない体づくりやスポーツマッサージの指導
      - ②健康管理及び怪我をしない体づくりを目指したトレーニングメニューの計画・立案・指導
    - (3) 講師招聘による研修会(年2回)
  - 3 会場 いしかわ総合スポーツセンター

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの振興				評価	A
課題	より高いレベルの選手の育成と強化					
指標	国民体育大会男女総合成績(天皇杯順位)				単位	順位
目標値	現状値					
令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
20位台以内	23	35	中止	中止	28	

事業費						
(単位:千円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	決算	2,000	2,000	1,770	2,000	2,000
一般財源	予算	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	決算	2,000	2,000	1,770	2,000	2,000
事業費累計		28,740	30,740	32,510	34,510	36,510

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	A	令和4年度栃木国体において、本事業の指定選手が各種大会等で実績をあげており、本事業が競技力の向上に大きく寄与している。 <主な実績> ・ハンドボール:成年女子 優勝 ・バレーボール:成年女子 優勝 ・レスリング:少年男子 優勝 ・他入賞数:16
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	見直し	これまでの事業ではフィジカルトレーニングに重点を置いていたが、競技団体からは「ケガなどコンディション不良の状態で大大会に出場したり、出場を断念した」といった声があり、ケガの予防や体のケア等、コンディショニングに重点を置いた内容に変更した。 さらに、選手のみならず指導者や保護者等に対してもコンディショニング管理の重要性を啓発する。 また、コンディショニング管理は、身体の成長が著しいジュニア期(中学生)から行うことが重要であるため、ジュニアの選手や、今まで対象となっていなかったパラアスリートも事業の対象とする。 こういった内容の見直しを行い、令和5年度から「いしかわ医科学情報サポート事業」を新たにスタートする。

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわの次世代アスリート支援事業	事業開始年度 R4	事業終了予定年度	作組織 スポーツ振興課 成職・氏名 専門員 中山 泰久 者電話番号 076 - 225 - 1392 内線 4382
	根拠法令・計画等	石川県スポーツ推進計画2021	

**事業の背景・目的**  
東京オリンピックでの本県ゆかりの選手の活躍を踏まえ、全国トップレベルの県内若手有望選手を日本代表選手等に育成するため、県内競技団体が行う育成・強化の取り組みを支援する。

**事業の概要**

1 対象  
指定競技団体(16団体)  
体操(トランポリン)、水泳(飛込)、水泳(競泳)、水泳(水球)、陸上競技、レスリング、ウエイトリフティング、ボクシング、卓球、自転車競技、テニス、剣道、相撲、バドミントン、カヌー、ハンドボール

2 事業の内容

(1) 国内トップコーチ招聘事業  
国際レベルのコーチによる選手、指導者への指導等

(2) 県内外の合宿、海外遠征等  
県内外、海外での強化合宿等

(3) 医・科学的サポート事業  
基礎・専門体力測定、栄養学、心理学を活用した指導、国立スポーツ科学センター(JISS)との連携等

**備考**  
期 間 令和4年7月1日～令和5年3月31日

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの振興	評価	A			
課題	より高いレベルの選手の育成と強化					
	指標	国際大会出場者数	単位	人		
	目標値	現状値				
	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	10	8	15	6	11	6
事業費						
	(単位:千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算					10,000
	決算					9,801
一般財源	予算					10,000
	決算					9,801
事業費累計			0	0	0	9,801
評価						
	項目	評価	左記の評価の理由			
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	R4指定選手(総数73名)の内、国際大会出場者が6名(トランポリン3、水泳(飛込)、水泳(競泳)、レスリング)であった。その内、トランポリン競技において世界年齢別選手権で優勝を果たすなどの活躍があった。 また、栄養、メンタルなど医科学的サポート事業の実施により、アスリートの医科学トレーニングの推進、ひいては競技力の向上が図られた。			
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	全国トップレベルの県内若手選手を日本代表クラスに育成するには、質の高い指導などを継続していく必要がある。 また、栄養やメンタルなど、医科学的な根拠に基づくトレーニングについても、継続していくことで、大きな成果が期待される場所である。			

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわアスリートキャリアサポート事業費	事業開始年度	H30	事業終了予定年度	R4	作組織	スポーツ振興課
	根拠法令 ・計画等	石川県スポーツ推進計画2021			成職・氏名	専門員 中山 泰久
					者電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4382

**1 事業の目的**  
 有望なアスリートと競技の継続をサポートする県内企業のマッチングを支援することで、本県のスポーツの競技力向上とアスリートの県内就職を促進する。

**2 対象**  
**(1) 選手**  
 ・国体実施競技の競技団体から推薦を受けた者  
 ・石川県内での就職を希望する者  
 ・国体出場レベルの競技力を有し、就職後も競技を継続する意思を有する者  
 ・大学生及び社会人(石川県出身者に限らない)

**(2) 企業**  
 県内に本社または事業所を有し、全国大会等で活躍が期待される選手を採用する意志があり、競技活動への理解と協力(※)ができる企業とする。  
 ※・平日に練習がある日は残業をさせない。  
 ・休日に遠征があり、仕事が入っている場合は勤務のシフトを変更する。  
 ・国体等の大会に長期間出場する場合は、優先的に有給休暇をとれるようにする。

**3 事業内容**  
 (1) 協力企業のリストアップ  
 (2) 県内就職を希望する選手のリストアップ  
 (3) スポーツ振興課や行政経営課のHPで企業情報の提供  
 (4) 競技団体・選手との相談  
 (5) 就職試験に係る交通費の補助  
 (6) いしかわ就職フェアへの参加

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの振興				評価	A
課題	スポーツ指導者の養成と資質向上					
	指標	県内企業へのアスリートの就職者数			単位	人
	目標値	現状値				
	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	10	5	5	5	4	2
事業費						
	(単位:千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	500	800	640	480	480
	決算	30	10	137	40	130
一般	予算	500	800	640	480	480
	決算	30	10	137	40	130
事業費累計		30	40	177	217	347
評価						
	項目	評価	左記の評価の理由			
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	C	いしかわ就職フェアへの参加促進やアスリートの採用に関心のある企業情報の提供、個別対応を行い、令和4年度の就職者数は目標の10名を下回る2名であった。 協力企業数(R3:65社→R4:64社)			
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	廃止	これまでの取組により、アスリートが県内企業に就職した事例もあるが(H30～R4:累計21人)、県内企業の練習環境がアスリートのニーズと合わず、就職につながる実績が少ない状況であるため、予算事業としては廃止する。ただし、県として、引き続きアスリートの県内就職に向けたマッチング支援は継続して実施することとしている。			

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 パラアスリート支援事業費	事業開始年度 H29	事業終了予定年度	作 組 織 : スポーツ振興課
	根拠法令・計画等 石川県スポーツ推進計画2021		成 職・氏名 : 主事 関根 一憲 者 電話番号 : 076 - 225 - 1393 内線 4379

**事業の背景・目的**  
 パラアスリートに対し、国際大会及び国内大会に出場するために必要な費用や、中央競技団体が主催する強化練習・合宿に参加するための費用を支援することにより、選手の競技力の向上を図ることを目的とする。

- 事業の概要**
- 1 内 容
- (1) 国際大会や全国大会に出場するために必要な費用を支援
  - (2) 中央競技団体が主催する強化練習・合宿に参加するための費用を支援
  - (3) (1)と(2)に要する交通費、宿泊費、参加負担金、競技用具運搬費、保険料の補助

- 2 対 象
- 次の(1)～(3)すべてに該当する選手及びその介助者(1名まで)
- (1) 石川県出身者(石川県内の中学校又は高等学校の卒業生)または、現在、石川県内に住所あるいは所属を有する者
  - (2) 石川県障害者スポーツ協会から推薦を受けた者
  - (3) 過去5年間に国際大会か全国大会で入賞したことがある、または、当該年度に中央競技団体が指定する日本代表選手若しくは強化選手であり、今後も活躍が期待できる者

- 3 補助金額
- (1) 国際大会  
対象者が支払った対象経費の合計額(1大会当たり上限は10万円)
  - (2) 全国大会  
対象者が支払った対象経費の合計額の1/3 (1大会当たり上限は10万円)
  - (3) 中央競技団体が実施する強化練習・合宿  
対象者が支払った対象経費の合計額の1/3 (1回当たり上限は10万円)
- ※(3)は中央競技団体から日本代表選手として指定されている選手のみ

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの振興			評価	A	
課題	障害者アスリートの競技力向上					
	指標	障害者アスリート支援に係る補助申請件数		単位	件	
	目標値	現状値				
	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	20	12	25	7	2	14

事業費						
(単位:千円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算	1,070	2,000	2,000	2,000	2,000
	決算	336	604	36	46	320
一般	予算	1,070	2,000	2,000	2,000	2,000
財源	決算	336	604	36	46	320
事業費累計		1,045	1,649	1,685	1,731	2,051

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	令和4年度は新型コロナウイルス感染症のため中止となった大会や強化合宿もあったが、本制度の活用数は昨年度より大幅に増加した。 また、本制度を活用した選手、チームは世界大会でのメダル獲得をはじめとして大会で好成績を収めており、選手の競技力の向上につながっている。 主な実績 ・スキー: VIRTUSスキー世界選手権2023 男子リレー 2位 ・ボッチャ: 第7回全国ボッチャ選抜甲子園 優勝
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	東京パラリンピックを機に、県内の障害者スポーツに注目が集まっており、トップを目指す次世代のアスリートが練習に励んでいる。 今後も、県障害者スポーツ協会や関係競技団体と連携し、高みを目指す障害者アスリートを後押しする。



# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> パラアスリート育成事業	<b>事業開始年度</b> R4	<b>事業終了予定年度</b>	<b>作 組 織</b> スポーツ振興課
	<b>根拠法令・計画等</b> 石川県スポーツ推進計画2021		<b>成 職・氏名</b> 主事 関根 一憲
			<b>者 電話番号</b> 076 - 225 - 1393 内線 4379

**事業の背景・目的**  
 パラアスリートを育成する競技団体等に対し、全国大会において入賞を果たすために、必要な費用を支援することにより、本県パラアスリートの競技力の向上を図ることを目的とする。

**事業の概要**

- 1 指定競技団体  
 (全6団体) 石川県ボッチャ協会  
 春風クラブ(陸上競技)  
 Jamaney石川(車いすバスケット)  
 金沢ベストブラザーズ(電動車いすサッカー)  
 (一社)石川県バスケットボール協会(デフバスケットボール)  
 石川県スキー連盟(クロスカントリースキー)

- 2 対 象  
 石川県出身者又は石川県内に住所あるいは所属を有し、全国大会に出場実績等があるパラアスリートで、石川県障害者スポーツ協会または、該当競技団体から推薦を受けた団体またはチーム及び、選手の介助者(1名まで)とする。

- 3 内 容  
 練習や合宿など選手を育成するために要する経費を支援する。  
 (1)県内外合宿  
 (2)トップコーチの招へい  
 (3)競技用具の修繕

- 4 経 費  
 補助対象経費について予算の範囲内で補助する。

- 5 期 間  
 令和4年7月1日～令和5年3月31日

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	競技スポーツの振興				<b>評価</b>	A
<b>課題</b>	障害者アスリートの競技力向上					
<b>指標</b>	全国大会入賞者数				<b>単位</b>	チーム、人
	<b>目標値</b>		<b>現状値</b>			
	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	10	10	16	6	10	12

事業費					
<b>(単位:千円)</b>	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<b>事業費</b>	予算				2,000
	決算				2,000
<b>一般</b>	予算				2,000
	決算				2,000
<b>事業費累計</b>		0	0	0	2,000

評価	
項目	評価 左記の評価の理由
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin-left: 10px;">A</p> <p>本事業の指定団体が各種大会等で実績をあげており、本事業が競技力の向上に大きく寄与している。</p> <p>主な実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボッチャ:ジャパンパラボッチャ競技 女子BC3 1位</li> <li>・陸上競技:ジャパンパラ陸上競技 男子T20やり投 1位</li> <li>・電動車椅子サッカー: パワーチェアフットボールチャンピオンシップジャパン2022 2位</li> <li>・スキー:全日本障害者クロスカントリースキー競技会 クラシカル 5km 2位、フリー 5km 2位</li> </ul>
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin-left: 10px;">継続</p> <p>東京パラリンピックを機に、県内の障害者スポーツに注目が集まっている。</p> <p>また、パラスポーツの国内大会における選手の活躍は、県民に誇りと喜び、夢と大きな感動や勇気を与えるとともに、県民のパラスポーツへの関心を高め、本県のパラスポーツの振興につながるものである。</p> <p>今後も、県障害者スポーツ協会や関係競技団体と連携しながら、過去の実績や選手の現状分析に基づき、高みを目指す障害者アスリートを後押しする。</p>

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	いしかわトップスポーツチーム	<b>事業開始年度</b>	H30	<b>事業終了予定年度</b>	
	地域貢献協働推進事業費	<b>根拠法令・計画等</b>	石川県スポーツ推進計画2021		
		<b>作 組 織</b>	スポーツ振興課		
		<b>成 職・氏名</b>	主事 岩佐 熙史		
		<b>者 電話番号</b>	076 - 225 - 1394 内線 4385		

**事業の背景・目的**  
 スポーツ振興を核とする包括的連携協定を締結した県内トップスポーツチーム(7チーム)と連携して、親子向けイベントの開催やスポーツ教室等を行うことで、県民全体のスポーツに対する応援気運を醸成し、スポーツの裾野拡大や競技力向上を図る。

○協定締結先  
 ツェーゲン金沢(サッカー)、石川ミリオンスターズ(野球)、金沢武士団(バスケットボール)、北國銀行ハンドボール部Honey Bee、PFUブルーキャッツ(バレーボール)、金沢学院クラブ(バドミントン)、ヴァンセドール白山(フットサル)

○連携内容  
 (1) 裾野拡大のためのスポーツ教室等の開催  
 (2) 国体等に向けた競技力の向上のための練習会等の開催  
 (3) 試合や地域貢献活動に関する広報等の実施による県民をあげた応援気運の醸成  
 (4) 首都圏など大都市圏等から石川県への観光誘客に効果的なPRの実施  
 (5) その他、石川県政の施策、事業との連携など

**事業概要**

(1) スポーツチームとの交流イベント(いしかわスポーツキッズフェスタ)の開催  
 実施主体 実行委員会  
 内 容 親子を対象としたスポーツの体験・チームとの交流イベント

(2) 裾野拡大のためのスポーツ教室等の開催  
 実施主体 各チーム  
 内 容 小中学生対象のスポーツ教室や職業講話  
 スポーツクラブ等対象の教室

(3) 国体等に向けた競技力向上支援  
 実施主体 各チーム  
 内 容 指導者対象講習会開催、選手との合同練習

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	スポーツを通じた地域活性化	<b>評価</b>	D			
<b>課題</b>	県内トップスポーツチーム等との連携					
	<b>指標</b>	スポーツチームとの交流イベント参加者数			<b>単位</b>	人
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>				
	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1,000	3,500	1,000	1,200	中止	600
事業費						
	(単位:千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<b>事業費</b>	予算	9,000	8,000	10,200	6,000	6,000
	決算	6,725	7,666	6,795	4,778	5,284
一般	予算	9,000	8,000	10,200	6,000	6,000
財源	決算	6,725	7,666	6,795	4,778	5,284
<b>事業費累計</b>		6,725	14,391	21,186	25,964	31,248
評価						
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)	B	8月に「いしかわスポーツキッズフェスタ2022」を開催し、親子300組が来場した。また、スポーツ教室や職業講話を小学校22校、中学校4校で開催した。以上の参加者数やアンケートの結果「スポーツ選手と交流できる貴重な機会だった」「来年も参加したい」などの意見から、トップスポーツチーム関連事業は県民からの関心が高いことが伺え、交流イベントやスポーツ教室がスポーツの裾野拡大を促進するとともに、県内トップスポーツチームの地域貢献活動の一助にもなった。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	新型コロナウイルス感染症対策によるイベント中止が徐々に緩和されていく中で、交流イベント・スポーツ教室ともに、アンケートなどの参加者の声を基に、より良いものになるよう企画内容を工夫して実施する。				

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> パラスポーツ普及促進事業	<b>事業開始年度</b> R4	<b>事業終了予定年度</b>	<b>作 組 織</b> スポーツ振興課
	<b>根拠法令・計画等</b> 石川県スポーツ推進計画2021		<b>成 職・氏名</b> 主事 岩佐 熙史 <b>者 電話番号</b> 076 - 225 - 1394 内線 4385

**事業の背景・目的**  
 スポーツ振興を核とする包括的連携協定を締結した県内トップスポーツチーム(7チーム)と連携して、親子向けイベントの開催やスポーツ教室等を行うことで、県民全体のスポーツに対する応援気運を醸成し、スポーツの裾野拡大に取り組んでいる。  
 東京パラリンピックを契機に、パラスポーツへの関心が高まっていることから、スポーツを通じた共生社会の実現に向けて、更なる連携を図る。

- 協定締結先  
 ツェーゲン金沢(サッカー)、石川ミリオンスターズ(野球)、金沢武士団(バスケットボール)、北國銀行ハンドボール部Honey Bee、PFUブルーキャッツ(バレーボール)、金沢学院クラブ(バドミントン)、ヴァンセドール白山(フットサル)

- 連携内容  
 (1) 裾野拡大のためのスポーツ教室等の開催  
 (2) 国体等に向けた競技力の向上のための練習会等の開催  
 (3) 試合や地域貢献活動に関する広報等の実施による県民をあげた応援気運の醸成  
 (4) 首都圏など大都市圏等から石川県への観光誘客に効果的なPRの実施  
 (5) その他、石川県政の施策、事業との連携など

- 事業概要**  
 (1) 特別支援学校におけるスポーツ教室の開催  
 トップスポーツチームの選手による教室やトップスポーツチームとパラスポーツの競技団体が連携した教室を実施  
 (2) トップスポーツチームによるパラスポーツの魅力発信  
 いしかわスポーツキッズフェスタにおいて、パラスポーツの体験も実施し、参加者と選手が一緒に体験

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	スポーツを通じた地域活性化				<b>評価</b>	D
<b>課題</b>	県内トップスポーツチーム等との連携					
	<b>指標</b>	スポーツチームとの交流イベント参加者数			<b>単位</b>	人
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>				
	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1,000	3,500	1,000	1,200	中止	600

事業費						
(単位:千円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算					2,000
	決算					989
一般財源	予算					2,000
	決算					989
<b>事業費累計</b>			0	0	0	989

評価	
<b>項目</b>	<b>評価</b>
<b>事業の有効性</b> (費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)	B
	8月に「いしかわスポーツキッズフェスタ2022」を開催し、親子300組の方が来場し、ブース内でブラインドサッカー、車いすバスケットボール、ボッチャ、シッティングバレーボールといった競技を体験することができた。 パラスポーツ教室は県内の特別支援学校で6回開催し、131名の生徒が参加した。以上の参加者数やアンケートの結果「体験したことのない競技ができて良かった」「また参加したい」などの意見から、県民のパラスポーツ体験に対するニーズがうかがえ今後もスポーツを通じた共生社会実現に向けて事業を継続していく。
<b>今後の方向性</b> (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続
	新型コロナウイルス感染症対策によるイベント中止が徐々に緩和されていく中で、交流イベント・スポーツ教室ともに、アンケートなどの参加者の声を基に、より良いものになるよう企画内容を工夫して実施する。